

「いかがですか」「安いですよ」

元気いっぱい呼び込み

津商モール
津山高生

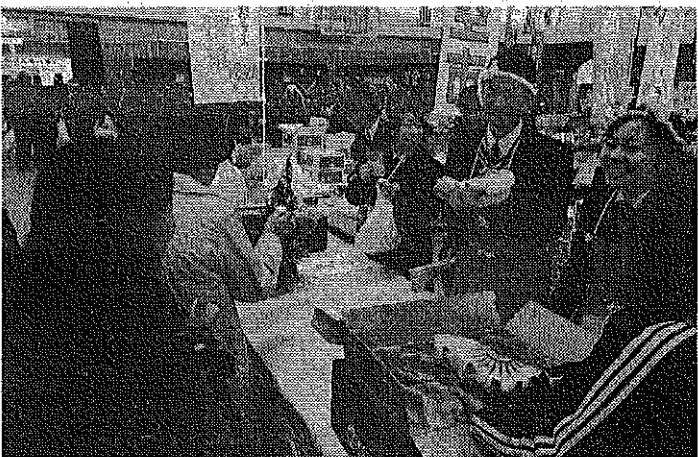
家族連れらで盛況

生徒が仕入れから販売まで行う「津商モール」が7日、津山商業高校（山北）であり、大勢の家族連れらが買い物を楽しんだ。

全校生徒が参加し、美作地域の企業や商店の協力を得て生鮮食品や家電製品、車など多彩な商品を販売する模擬商店街を体育館や中庭に開いた。津商オリジナルコーヒートケーキセット、日用雑貨、花など格安の商品がずらり。生徒たちは「いかがですか」「安いですよ」と元気いっぱい呼び込んでいた。

来場者が情報ビジネス科2年生からクリスマスカードの作り方を習う「パソコン講座」、東日本大震災に関する「佐藤信一写真展」も初めて開かれた。

青果のコーナーでバナナのたたき売りをした西田光希さん（3年）は「初めての貴重な体験ができた。お客さんと目を合わせ、笑顔で大きな声で行うよう努めた」。2年前に同校



生徒と市民らの笑顔があふれた「津商モール」

を卒業した市内の会社員・平田雅昌さん(20)は「以前は売る立場だったが、今回はお客さ

んとして来て、違った両方の楽しさを感じることができた」と話していた。

津商モールは、商業の勉強の総まとめとして知識やマナー、サービスを考える力を養おうと、毎年この時期に開いており5回目。